



はっ た まさ とし  
**八 太 正 年**

む かい は  
**無 会 派**

**災害弱者が安心できる  
一時避難所の確保を**

**問** 香良洲から河芸までの海岸地域では、近くに避難できる場所がない地域が多く、遠くまで自力で避難できない災害弱者のために、安心できる一時避難所を整備するよう要望書が提出されているが、これに対する担当部長と市長の言われていることの整合性についてどう説明するのか。災害弱者の方が安心できるように一時避難所を整備をなぜ先に進めないのか。

**答** 避難できる場所がないという具体的なお話があればそれをもとに検討するという事を申し上げたもので、昨年議員からもお話のあった伊倉津地区では近くに避難場所がないという状況も踏まえ、建設予定の防災物流施設を一時避難所として利用いただけるよう対応を進めている。また香海中学校や豊津小学校等を津波避難ビルに指定している。白塚地区あるいは河芸・香良洲地域の方がかなり安心いただけるようなことを行っているが、災害弱者は遠い所へ逃げられないということも踏まえ、今後も津波避難ビルの募集や10月には津波避難協力ビルの指定を考えている。災害対策に終わりはないことから、少しでも充実できるようにお話を伺い、今後引き続き取り組んでいきたい。

●その他の質疑・質問●

- 一志地域の波瀬川及び河芸地域の中ノ川や田中川等の護岸整備について
- 中古物件である津センターパレス及びポルタひさいの一部を購入することが、10年そして20年後の津市の財政運営等に与える影響について
- 副都心と言われている久居庁舎等の整備について



▲津波避難タワー（製造メーカーのホームページより）



かわ ぐち かず お  
**川 口 和 雄**

しみんくらぶ  
**市民クラブ**

**ポルタひさい買取問題  
について**

**問** ポルタひさいの土地・建物の一部取得では、久居都市開発(株)の経営破綻を先送りするだけで債務の肩代わりをしなければならぬ。ポルタひさいを全て買上げ、公共公益施設をポルタひさいに移転すれば合併特例債の活用ができ財政的な負担が少なくて済む。

現実的に選択肢はこの方法しかないのではないのか。

**答** ポルタひさいは多くの久居地域の方々の熱意によって支えられてきた施設であり、旧久居市としても、地域における公益性がある施設として、その機能を果たしていくことが重要と判断し、損害担保契約の締結等苦渋の決断をされたと理解している。現在の危機的な状況において、ポルタひさいの機能の最大化を図るためには、損害担保契約が機能しない形で検討しなければならないが、具体策として、津市が久居都市開発(株)の土地・建物を全て取得するしか選択肢はないのではないかと考えられる。仮にそのような選択を行うのであれば、合併特例債を最大限活用しつつ、かつポルタひさいの機能の最大化を図る活用方法を具体的に示さなければならないと考えている。

●その他の質疑・質問●

- いじめ問題について
  - ・教師はいじめを防止する義務があるが、早期発見にどのような体制で臨んでいるのか
  - ・いじめ解決システム早期発見マニュアルを早急に作成せよ
  - ・児童生徒にいじめアンケート調査を○×方式で実施せよ
  - ・いじめゼロのスローガンを全小中学校に掲げ、いじめ撲滅キャンペーンを真剣にせよ など



▲久居駅東口に地域交流センター（音楽ホール）の早期建設を